クレオソート油，加工タール及び タールピッチ試験方法

JIS K 2425：2026

（JAIA/JSA）

令和 8 年 10 月 20 日　改正

日本産業標準調査会 審議

（日本規格協会 発行）

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
（部会長）	田 辺 新 一	早稲田大学
（委員）	江 坂 行 弘	一般社団法人日本自動車工業会
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	奥 野 麻衣子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	片 山 英 樹	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	鐘 築 利 仁	一般財団法人日本規格協会
	鎌 田 敏 郎	大阪大学
	倉 片 憲 治	早稲田大学
	越 川 哲 哉	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	小 山 明 男	明治大学
	是 永 敦	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	齋 藤 美 佳	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	高 津 章 子	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	高 辻 利 之	一般社団法人日本計量機器工業連合会
	田 淵 一 浩	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	俵 木 登美子	一般社団法人くすりの適正使用協議会
	水 流 聡 子	東京大学
	廣 瀬 道 雄	一般社団法人日本鉄道車輌工業会
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	細 谷 恵	主婦連合会
	増 井 慶次郎	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	山 根 敏	国立大学法人埼玉大学

主 務 大 臣：経済産業大臣　　制定：昭和 45.6.1　　改正：令和 8.10.20
官 報 掲 載 日：令和 8.10.20
原 案 作 成 者：一般社団法人日本芳香族工業会
（〒103-0025　東京都中央区日本橋茅場町 3-5-2　アロマビル　TEL 03-3666-5341）
一般財団法人日本規格協会
（〒108-0073　東京都港区三田 3-11-28　三田 Avanti　TEL 050-1742-6017）
審 議 部 会：日本産業標準調査会　標準第一部会（部会長　田辺　新一）

この規格についての意見又は質問は，上記原案作成者又は経済産業省イノベーション・環境局 国際標準課（〒100-8901　東京都千代田区霞が関 1-3-1）にご連絡ください。

なお，日本産業規格は，産業標準化法の規定によって，少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され，速やかに，確認，改正又は廃止されます。

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

目　次

ページ
1　適用範囲 1
2　引用規格 1
3　用語及び定義 2
4　一般 2
5　試料の採取及び調製 2
5.1　試料の採取方法 2
5.2　試料の調製 3
5.3　脱水試料の調製 3
6　密度測定方法 6
6.1　クレオソート油の密度測定方法 6
6.2　クレオソート油の 235 ℃～315 ℃留分の密度測定方法 7
6.3　加工タールの密度測定方法 8
6.4　タールピッチの密度測定方法 9
7　蒸留試験方法 11
7.1　クレオソート油の蒸留試験方法 11
7.2　加工タールの蒸留試験方法 13
8　タールピッチの軟化点測定方法 13
8.1　一般 13
8.2　手動式測定方法 14
8.3　自動式測定方法 19
9　エングラー度測定方法 20
9.1　クレオソート油のエングラー度測定方法 20
9.2　加工タールのエングラー度測定方法 22
10　引火点測定方法 23
11　固定炭素分定量方法 23
12　水分定量方法 24
12.1　一般 24
12.2　カールフィッシャー滴定法 24
12.3　蒸留法 24
13　クレオソート油の酸性油分定量方法 27
14　トルエン不溶分定量方法 28
14.1　クレオソート油のトルエン不溶分定量方法 28
14.2　加工タール及びタールピッチのトルエン不溶分定量方法 29
15　タールピッチのキノリン不溶分定量方法 30
15.1　一般 30

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

ページ

15.2　ろ過法……30
15.3　遠心法……31
16　クレオソート油のコークス残分定量方法……32
17　タールピッチの灰分定量方法……34
18　クレオソート油の流動性試験方法……34
附属書 A（規定）試料採取方法……37
解　説……47

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は，産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき，一般社団法人日本芳香族工業会（JAIA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から，産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり，日本産業標準調査会の審議を経て，経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって，**JIS K 2425**:2006 は改正され，この規格に置き換えられた。

この規格は，著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が，特許権，出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は，このような特許権，出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について，責任はもたない。

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

白　　紙

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

日本産業規格　　JIS
K 2425：2026

クレオソート油，加工タール及び タールピッチ試験方法

Test methods of creosote oil, prepared tar and tar pitch

1　適用範囲

この規格は，コールタール製品としてのクレオソート油，加工タール及びタールピッチの試験方法について規定する。

警告　クレオソート油，加工タール及びタールピッチは，引火性があり，かつ，人体に有害な成分を含んでいるため，その取扱いには設備上及び操作上十分な注意が必要である。また，この規格で用いる試薬は，引火性の高いものも多いため，操作上十分な注意が必要である。

この規格は，その使用に関連して起こり得る全ての安全上の問題を取り扱おうとするものではない。この規格の利用者は，各自の責任において安全及び健康に対する適切な措置を取らなければならない。

2　引用規格

次に掲げる引用規格は，この規格に引用されることによって，その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格のうち，西暦年を付記してあるものは，記載の年の版を適用し，その後の改正版（追補を含む。）は適用しない。西暦年の付記がない引用規格は，その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 1501　転がり軸受－鋼球

JIS B 7410　石油類試験用ガラス製温度計

JIS B 7525-3:2018　浮ひょう－第 3 部：浮ひょう型比重計

JIS H 6201　化学分析用白金及び白金合金器具

JIS K 0050　化学分析方法通則

JIS K 0061　化学製品の密度及び比重測定方法

JIS K 0068　化学製品の水分測定方法

JIS K 1503　アセトン

JIS K 2249-2　原油及び石油製品－密度の求め方－第 2 部：浮ひょう法

JIS K 2265-1　引火点の求め方－第 1 部：タグ密閉法

JIS K 2265-2　引火点の求め方－第 2 部：迅速平衡密閉法

JIS K 2265-3　引火点の求め方－第 3 部：ペンスキーマルテンス密閉法

JIS K 2265-4　引火点の求め方－第 4 部：クリーブランド開放法

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。